



文責
松原

励徳小学校図書館 10月号

ステキな秋の季節に入っています。読書の秋、芸術の秋、スポーツの秋、

食欲の秋、と色々な秋を感じて、元気な毎日をすごしましょうね。

10月27日から11月9日までは、全国秋の読書週間です。

読書をたくさんすることで、多くの言葉を学べます。また、教科書や本の文章を読む力や、豊かに想像をする力がつきます。たくさんの本と出会って、心豊かになると、自分を大切にできるし、友だちと仲良く遊ぶことができます。そして、楽しく勉強ができますよ。

図書・放送委員会のからのお知らせ

10月の18日に予定されている児童集会で、ウキウキ・ワクワクするような発表をします。楽しみにしていてくださいね！

【読書の秋】にちなみ、図書館からおすすめの本を紹介します。

『さつまのおいも』

おいもは、つちのなかで、くらしています。ごはんもたべるし、はもみがきます。

つちなかに人間のように暮らしているおいもたちです。



『おおきなおいも』

あおぞら幼稚園のいもほり遠足が、雨のため、延期になってしまいました。楽しみにしていた子どもたちは、残念がかり、紙におおきなおいもを描きはじめます。



『ハロウィーンってなに?』

日本ではじめてのハロウィーン絵本です。魔法使いの女の子、ビビと一緒に、ハロウィーンのことを知りましょう。楽しくて、分かりやすい絵本です。



『すいはんきのあきやすみ』

運動会の朝、庭でけんいちとお父ちゃんがラジオ体操をしていると、台所からお母ちゃんの「あかん。あかん。」といいう泣きそうな声が聞こえます。様子を見に行くと。。。。



『葉っぱのフレディ』

大きな木の太い枝に生まれた、葉っぱのフレディのおはなしです。春に生まれたフレディは、数えきれないほど葉っぱにとりかこまれていました。フレディは、親友のダニエルからいろいろなことを教えてもらいます。

